

## 江南市まちづくり会議（全体会議） 議事要旨

会議名	平成23年度 第1回江南市まちづくり会議（全体会議）
日時	平成23年11月4日（金） 午後1時30分～午後4時01分
場所	江南市役所 2階 大会議室
出席者	市民委員 第1分科会 宮川秀男（分科会長）、岩井喜美子（副分科会長） 第2分科会 平松宏幸（分科会長）、小椋雅江（副分科会長） 第3分科会 加藤幸治（分科会長）、柴田広美（副分科会長） 第4分科会 柴田 熙（分科会長兼全体会議副議長）、滝 滋（副分科会長） 第5分科会 奥村 忠（分科会長）、大前温子（副分科会長） 【学識経験者】 中田 實（全体会議議長、愛知江南短期大学元学長） 武長脩行（椋山女子学園大学文化情報学部教授）
	市職員 第1分科会 永井嘉信 第2分科会 安藤利継 第3分科会 吉野賢司 第4分科会 鈴木慎也 第5分科会 大竹 誠 【事務局】 社本 亘（経営企画部長） 武田篤司（行政経営課長） 中山英樹（行政経営課行政マネジメントグループリーダー） 尾関諒子（行政経営課行政マネジメントグループ書記）
議題	1. 全体の目標達成状況について 2. 各分野の目標達成状況について 3. その他
資料	1. 江南市戦略計画達成状況報告書（案）

### ◆ 会議結果 ◆

#### 1. 全体の目標達成状況について

- 江南市戦略計画達成状況報告書（案）の「第2章 前期計画期間の重点戦略」「第3章 全体の目標達成状況」「巻末資料」の修正内容についての説明が事務局よりありました。
- 全体の目標達成状況について、全体目標と個別目標の平均達成率が102.6%、各分野の平均達成率について、生活環境・産業分野が109.7%、健康福祉分野が99.1%、都市生活基盤分野が99.6%、教育分野が105.6%、経営企画分野が95.1%であり、ごみ減量や消防救急体制の充実など、生活環境・産業分野では、高い達成率にあるものの、地域協働や課税・収納などの経営企画分野では低い達成率になっており、今後のさらなる取り組みが必要であるとの説明が事務局よりありました。

#### 2. 各分野の目標達成状況について

- 各分野の分科会長から、各分野の目標達成状況や主な成果、主な今後の課題についての説明がありました。

##### 【意見交換内容】

##### （第1分科会 生活環境、産業分野）

- 東日本大震災や水害があり、地震・防災に対する市民の意識も高まっているので、この機会に東日本大震災や水害以降に出てきた電力不足などの大きな課題を記載し、市民の活動意欲を高めたらどうかとの意見

があり、達成状況報告書は平成 22 年度までのまとめなので、市民満足度調査の結果などに、震災などの影響は反映されていないが、確かに市民の意識の向上は感じているとの説明がありました。

- ・東日本大震災以降、市民の意識はかなり向上していると感じるが、まだ防災訓練を行政にやらされていると感じている方もいるので、広報などを通じて自分の町は自分で守らなければいけないことを啓発して欲しいとの意見があり、消費生活展など、あらゆる機会でも防災について啓発していくとの説明がありました。
- ・消費生活展では、ボランティアの方がパネル展示や非常食などの展示を行っているので、市民の活動と市役所の活動が現状と上手く合うものを指標として設定して欲しいとの意見がありました。

#### (第 2 分科会 健康、福祉分野)

- ・達成状況報告書 63 ページの「老人クラブの会員数」について、お年寄りの数は増えているにも関わらず、会員数が減少しているのは何故かとの質問があり、事業の見直しや、「老人クラブ」という名称の変更など、今後も会員数が増加するよう努力していきたいとの説明がありました。
- ・お年寄りには老人クラブだけではなく、色々なサークル等に所属しており、サークル等の方が魅力があるから、老人クラブに入らない人が多いので、サークル等の会員数も把握して実績値に加えたらどうかとの意見があり、老人クラブ以外のサークル等の会員数をどれだけ把握出来るか検討して、次回平成 25 年度の戦略計画の見直しの際に、サークル等を含めた新たな指標を立てることも考えていきたいとの説明がありました。
- ・老人クラブの活動が問題なのか、お年寄りの日ごろの生活が問題なのかによって指標の立て方が変わってくるとの意見がありました。
- ・江南市戦略計画第一次改訂基本計画の 155 ページの「福祉サービスが整っており、障害のある方が、作業所への通所やホームヘルパー、デイサービスなどの利用により、地域で生き生きと生活していると思いませんか」という質問についてのアンケート結果では、「わからない」という回答が一番多い。不特定の対象への質問では、当事者では無い方が「そう思う」と判断してしまい、正確な評価が出来ない場合があるので、今後アンケートの集計方法を検討して欲しいとの意見がありました。

#### (第 3 分科会 都市生活基盤分野)

- ・達成状況報告書 107 ページの下水道普及率の目標値について、愛知県普及率 72.0%や全国の平均普及率 75.1%と比べると江南市は大きく遅れているにも関わらず、目標値が 20.3%というのは目標が低すぎるので、せめて近隣市町の普及率を目標値にした方がいいのではないかと意見があり、確かに五条川右岸流域の中でも江南市の下水道普及率は低いですが、立てた整備計画に基づいて目標値を設定しており、計画通りに整備が進んでいるとの説明がありました。

#### (第 4 分科会 教育分野)

- ・達成状況報告書 143 ページの「文化財普及事業への参加者数」、144 ページの「江南市国際交流協会の事業に参加する日本人の数」については、実績値が目標値を大幅に超えているので、目標値の立て方を考えなければいけないとの意見があり、この二つの指標については、平成 22 年度実績値を考慮して、平成 25 年度、平成 29 年度の目標値を上方修正したとの説明がありました。
- ・達成状況報告書 137 ページの「愛知江南短期大学と連携した講座の受講者数」について、従来の主な受講者層である 30~40 代の女性が大幅に減少しており、講座内容の充実だけでは受講者増加は見込めないとの理由を掘り下げて考えなければいけないとの意見がありました。
- ・短大任せではなく、市と共催で講座を開講することも検討して欲しいとの意見がありました。
- ・達成状況報告書 127 ページの「学校・家庭・地域の協力により、子ども 1 人ひとりに学力・体力・

社会性・人間性が身についていると感じる市民の割合」の平成 22 年度目標値が 20.1%では低すぎるのではないかと、市民の意識はもっと高いと感じるとの意見があり、平成 18 年度の基準値を基準として目標値を設定したが、実績値が目標値を大幅に超えたため、平成 25 年度、平成 29 年度の目標値を上方修正したとの説明がありました。

- ・市民満足度調査では調査対象者を無作為に抽出しているため、子育てに関心のない世代も含まれており、実績値が低い割合になる傾向があるので、調査の仕方を考えないといけないとの意見があり、実績値の測定については、前回調査と同様の条件で測定しており、その結果得られた値を基準として平成 25 年度、平成 29 年度の目標値を上方修正したとの説明がありました。
- ・全体目標の「児童・生徒が自ら学ぶ力を持ち」という表現が、低い実績値に繋がっているのではないかととの意見がありました。

#### (達成状況報告書全体に対する意見)

- ・達成状況報告書の主な今後の課題の記述では、綺麗にまとまりすぎていて、あまり深刻さが伝わってこないとの意見がありました。
- ・達成状況報告書 200 ページの「おわりに」の内容に、今日の意見を踏まえて、震災の影響などを追記して欲しいとの意見があり、内容を追記して修正案をお示しするとの説明がありました。
- ・本会議での意見を踏まえて達成状況報告書を修正し、広報やホームページで公表することについては、全員一致で了承されました。

### 3. その他

- ・達成状況報告書については、来年の 3 月ごろには広報やホームページで広く市民の皆さまへ公表していくとの説明がありました。